

愛・地球博記念公園「地球市民交流センター」について

愛知県建設部公園緑地課

愛・地球博記念公園は、「自然の叡智」をテーマに2005年日本国際博覧会が本公園で開催されたことを契機として、博覧会の理念と成果を継承した21世紀型の都市公園を目指し整備を進めている。

地球市民交流センターは、博覧会で培われた「地球市民」の理念を発展させるため、国際、地域、県民による交流を促進し、多様な体験交流の場を提供する。その運営にあたっては、利用者の多様なニーズに柔軟に対応し、きめ細やかなサービスの提供ができるよう、NPOや企業、大学、行政等で構成する「公園マネジメント会議」と公園管理者が協働して取り組んでいく。

外観は、なだらかな草原の丘をイメージさせる緑化した屋上を持つ交流センター本体と、地球をイメージさせる半球体の体育館の2つの建物で構成されており、本年10月1日のオープンを予定している。

また、本年開催されるCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）の関連事業会場としても活用される。

(1) 基本的な施設の役割

- ・ 交流と環境をテーマに博覧会の理念と成果を継承・発展する核となる場
 - ・ 市民参加・交流活動の拠点
 - ・ 様々な環境技術の導入
- ・ 公園利用及び管理運営の拠点
- ・ 発災時における県内唯一の中核広域防災活動拠点（救援活動拠点）

(2) 施設規模等

延べ床面積：約 8,850 ㎡

【地球市民交流センター本体】

- ・ 構造：鉄筋コンクリート造平屋建
- ・ 延べ面積：約 6,200 ㎡
- ・ 高さ：約 16m

【体育館】

- ・ 構造：鉄骨造平屋建
- ・ 延べ面積：約 2,650 ㎡
- ・ 高さ：約 26m

(3) 屋内施設内容

- 7 屋内広場：展示、イベント、ミニコンサート、休憩、情報提供等の場。
- イ 体験学習室①～③：講演・講義・発表会等の利用。
- ウ 多目的室①～④：絵画・写真・音楽教室や工作等、各種学習室としての利用。
- エ 多目的スタジオ①～③：軽運動、ダンス等の利用。
- オ 体育館：バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球等のスポーツ利用の他、ミニコンサート、ダンス発表会等のイベント会場としての利用。

(4) 提供されるプログラム

(1) 環境プログラム

環境保全・生物多様性・エネルギー教育などの様々な地球環境をテーマとし、参加者が主体的に環境問題に関心を持ち、気づき・考えることを体験的に楽しみながら学びます。

【環境プログラム一覧】

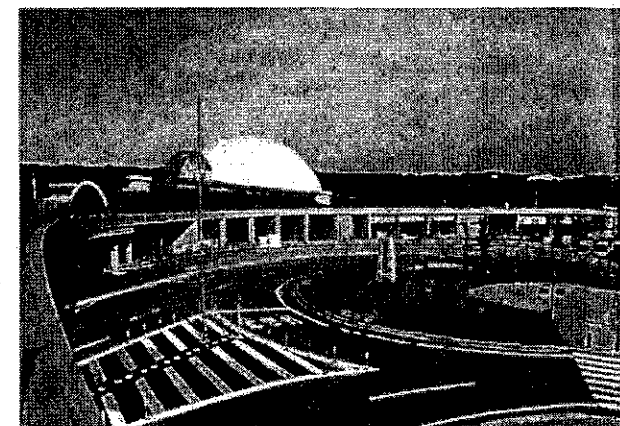
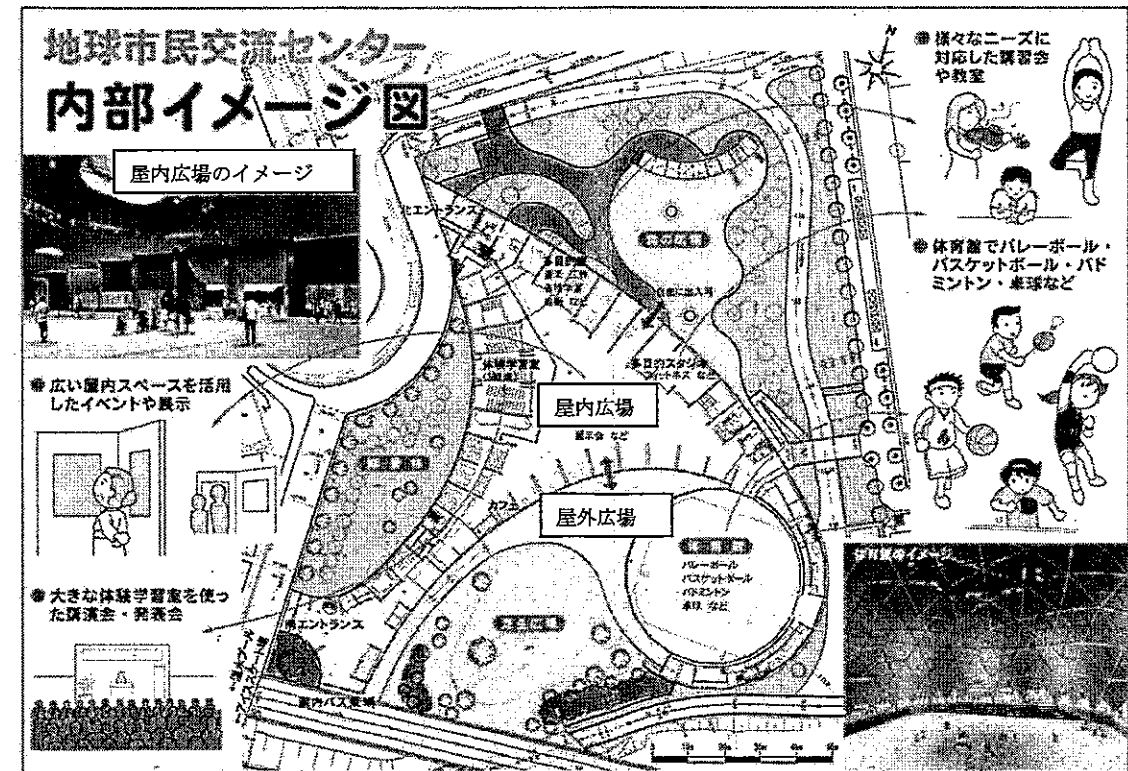
- ① 水の探検隊&廃油石けんづくり
- ② 天然素材で染める「草木染め」教室
- ③ 虫の鳴く不思議づくり「虫笛」作り等

(2) 交流プログラム

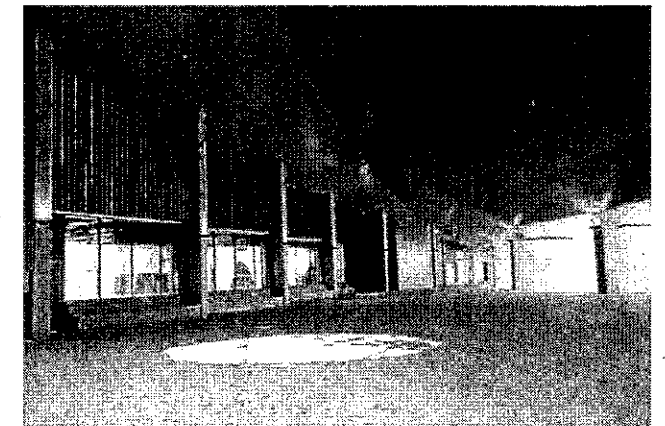
食育・地域交流をテーマとした伝統工芸やお菓子作りを通じて次世代への継承を図ります。また、国際交流をテーマとして多様な文化・世界観を学びます。

【交流プログラム一覧】

- ① 節句のお菓子作り
- ② 愛知の伝統工芸「紙すき」体験
- ③ タイムカプセル「10年後のあなたへ」等



愛・地球博記念公園駅から望む



屋内広場（左側奥は多目的スタジオ）